

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	岐阜県	市町村名	安八町	地区名	安八町南部地区	面積	483 ha
計画期間	平成 22 年度 ~ 平成 26 年度	交付期間	平成 22 年度 ~ 平成 26 年度				

目標
 安心して快適に暮らせるまちづくり
 ○道路網整備による生活環境の向上
 ○情報伝達手段の再構築と防災対策の充実
 ○福祉、健康増進対策の充実

目標設定の根拠
 まちづくりの経緯及び現況
 本町は、揖斐川・長良川の二大河川に挟まれた平野部にあり、良質な地下水に恵まれていることから、肥沃な土壌を活かした水稲や野菜の栽培が盛んな地域であります。
 また、名古屋圏などにも近いという立地条件から多くの企業も進出しており、豊かな田園工業都市を形成しています。
 現在は、「小さくてもきらりと光るまち」を将来像とする第四次総合計画(計画期間平成19年度～平成28年度)に基づきまちづくりを進めているところであり、計画に掲げる重点施策に基づき、これまでも福祉施策の拡充、生活環境の向上や災害対策、まちの活性化を図るため、企業誘致などを進めてまいりました。
 特に「安心して暮らせるまちづくり」としましては、本町は大地震の発生が懸念される地域であることや、過去に長良川決壊という大惨事に見舞われたこともあり、災害対策の強化には積極的に取り組んでおります。
 また、道路交通網の整備につきましても、交通安全対策や生活環境の向上など「安心して暮らせるまちづくり」としての一環となるとともに、企業誘致などまちの活性化にも繋がる重要な施策であります。
 特に、本町では工業専用地域から主要地方道大垣一宮線へつながる県道安八海津線の交差点の渋滞が著しく、本町の経済活動を損なっており、大垣一宮線につながる道路網の整備が課題となっています。
 その他、観光施設や集客施設は少なく、多くの人々が行き交う活力あるまちづくりを進めるには、随一の施設である「安八百梅園」や「安八温泉保養センター」などへの交通の利便性の向上や施設の充実が必要であると考えています。
 中でも「安八温泉保養センター」は憩いの場の提供のみならず、健康増進センターや健康ふれあいドームも兼ね備えた福祉・健康増進施設としても重要な施設であります。
 また、地元で取れた新鮮野菜の即売として、施設での販売や定期的に「朝市」「土曜日」が開催され、本町の農業振興の一端を担っています。

課題
 ①災害時の住民への情報伝達と災害対策の充実
 災害による被害を最小限に食い止めるには、情報を確実に伝達する手段の構築並びに避難所の安全性向上、災害備蓄資機材を拡充することが重要である。
 ②道路・交通網の整備
 日常生活の利便性の向上、企業を誘致するには交通アクセスの利便性の向上並びに交差点における渋滞緩和を図ることが重要である。
 ③安心して暮らせる環境づくり
 増加する高齢者世帯が安心して暮らせるためには、交流の場や健康づくりの場を提供することが重要である。

将来ビジョン(中長期)
【安八町第四次総合計画(平成19年度～平成28年度)】
 ①安全・安心な暮らし 防災対策の強化 防災意識の高揚、啓発・防災無線のデジタル化更新
 ②道路・交通網の整備 幹線道路、生活道路の整備を進め、利便性の向上並びに渋滞緩和を図る。
 ③社会福祉の充実 交流の場、健康づくりの場として「安八温泉保養センター」を有効に活用する。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値	目標年度
				基準年度		
防災訓練参加率	%	地区防災訓練に参加する世帯の割合	救命講習会への参加の促進並びに災害図上演習実施などにより災害に対する意識の高揚を図り、防災訓練への参加率の向上を図る	73.5	80	平成26年度
安八温泉保養センター利用者数	人/年	施設利用者数(延べ人数)	新源泉の掘削により施設を充実させ利用者の確保を図る	271,525	272,000	平成26年度
交通渋滞の緩和	台/日	特定交差点を通過する車両台数	工業専用区域内から車両が通行不能な道路の改良により、主要県道までへの交通の分散を図り渋滞緩和を図る。	1,200	1,080	平成26年度